

井本 <sup>いもと のぞみ</sup>望さん（山口県山陽小野田市出身）  
2014年度2次隊 青年海外協力隊  
派遣国：セントルシア 職種：青少年活動  
2015年11月22日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 日本と交流 生徒に笑顔

「ワイ」「オッヨヨーイ」  
「オジャオジャオジャ」。何の音だと思うかもしれない。セントルシア人の笑い声である。声を上げて痛快に笑うものだから、聞いているだけでこちらも笑ってしまう。

え、セントルシアってどこ。ぜひ地球儀を片手に、日本から約180度、回していただきたい。カリブ海で南北に広がる小さな島々を見つけたら、その一つが私の赴任先、島国のセントルシアである。



青少年赤十字クラブの合宿で浴衣体験をする子どもたち

常夏の地にて1年4カ月。降り注ぐ強い日差しは、私の肌をすっかり小麦色に焼いた。情熱的な太陽に負けないくらい、セントルシア人は陽気で冗談が大好きだ。国の規模は人口、面積ともにちょうど淡路島と同じくらいである。

9割がアフリカ系。英語とクレオール語を使う。在留邦人12人。私はセントルシア赤十字社の青少年担当官として、小中高校の青少年赤十字クラブの活性化を目的に活動している。

具体的には、約15校の全体統括およびクラブ顧問の運営補助。さらに新プログラムとして異文化理解教育及び環境教育の導入を図っている。

各校を巡回し、日本の中高校との交流プロジェクトや、環境保護意識向上を目指したエコクラフトの紹介やごみ拾い活動などを行っている。交流校の一つが玉野市立日比中だ。テクノロジーは便利だけど、日本から届いた直筆の手紙を手にする現地の子どもたちのうれしそうな顔は、いつも私の心を動かしている。